

令和2(2020)年度実施 平成30(2018)年度卒業生アンケート調査(看護学部) 報告

2020.11.30

【調査目的】

本学を卒業した学生に教育成果などについてアンケート調査を実施し、今後の教育改善に役立てることを目的とする。

【調査方法】

1. 期間：令和2年7月13日～8月31日
2. 対象：2名以上が就職した病院で看護師として勤めている平成30(2018)年度卒業生
3. 方法：自記式質問紙調査・郵送法

【調査回答】

1. 配付：看護師31名
2. 回答数：7
3. 回収率：23%

【調査結果】

I. あなた自身について

問1. 性別

①女性	②男性
6	1

問2. 在学中に取得した資格・免許

①看護師	②その他
7	0

問3. 現在の職業に満足しているか。

①満足している	②ある程度満足している	③あまり満足していない	④満足していない
2	5	0	0

問4. 希望する今後のキャリアアップについて

①ある	②なし	無回答
3	2	2

- a. 大学院博士前期課程進学 1
 c. 認定看護師取得 2
 d. 専門看護師取得 3
 g. その他(保健師、アドバイザー) 2

問5. 在学中の取組みについて

	① 熱 心 に	② い え ど ば ち 熱 心 に と	③ で い は え ど な ば ち い 熱 心 に と	④ な い 熱 心 に で は
(1) 授業(授業時間中)	1	6	0	0
(2) 授業と関係ある学習	1	5	1	0
(3) 資格取得	5	2	0	0
(4) 主体的な活動(ボランティア活動、交流活動など)	2	3	1	1

(5) インターンシップ	1	3	3	0
(6) サークル・クラブ活動	0	3	1	3
(7) アルバイト等	2	1	4	0

Ⅱ. 大学教育とこれまでの経験との関係

問6. 資質・能力について、現在の職業や社会生活に役立っているか。(D P)

	る ① 役 立 っ て い	て い ② い え ど る ば ち 役 ら い 立 か っ と	て い ③ い え ど な ば ち 役 ら い 立 か っ と	な ④ い 役 立 っ て い
(1) 豊かな人間性と倫理観をもとに、人間の尊厳と権利を擁護する態度	5	2	0	0
(2) 自己理解・自己受容をもとに、自己を活用した対人支援力	5	2	0	0
(3) 看護を必要とする人々に、的確な看護判断のもとで確実に実践できる基礎的能力	3	4	0	0
(4) 地域社会の包括的ヘルスケアシステムの一員として、人々の健康生活に貢献する基礎的能力	3	4	0	0
(5) 看護専門職として自らの価値観を形成し、成長し続けようとする力	4	3	0	0

問7. 資質・能力について、現在の職業や社会生活に役立っているか。(社会人基礎力)

		る ① 役 立 っ て い	て い ② い え ど る ば ち 役 ら い 立 か っ と	て い ③ い え ど な ば ち 役 ら い 立 か っ と	な ④ い 役 立 っ て い
物事に進 んで取り 組む力	(1) 自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に 取り組むことができる	3	4	0	0
	(2) 自分の強み・弱みを把握し、困難なことでも自 信をもって取り組むことができる	2	5	0	0
	(3) 自分なりに判断し、他者に流されずに行動でき る	3	4	0	0
他人に働 きかけ巻 き込む力	(4) 相手を納得させるために、協力することの必然 性（意義、理由、内容など）を伝えることができる	3	3	1	0

	(5) 状況に応じて効果的に巻き込むための手段を活用することができる	2	4	1	0
	(6) 周囲の人を動かして目標を達成するパワーをもって働きかけている	2	3	2	0
目的を設定し確実に実行する力	(7) 一つ一つの成果に喜びを感じ、目標達成に向かって粘り強く取り組み続けることができる	2	4	1	0
	(8) 失敗を恐れずに、とにかくやってみようとする果敢に挑戦することができる	2	2	3	0
	(9) 強い意志をもち、困難な状況を乗り越えようと、取組を続けることができる	1	6	0	0
現状を分析し目的や課題を明らかにする力	(10) 課題達成時のイメージを明確に描き、その実現のために現段階でなすべきことを的確に把握できる	1	4	2	0
	(11) 現状を正しく認識するために必要な情報の収集や分析ができる	2	5	0	0
	(12) 課題を明らかにするために、他者の意見を積極的に求めている	2	5	0	0
課題の解決に向けたプロセスを明らかに準備する力	(13) 作業のプロセスを明らかにして優先順位をつけ、実現性の高い計画を立てられる	2	5	0	0
	(14) 計画と照らし合わせて、進捗状況を把握することができる	3	3	1	0
	(15) 進捗状況や不測の事態に合わせて、柔軟に計画を修正できる	3	3	1	0
新しい価値を生み出す力	(16) 複数のもの（もの、考え方、技術等）を組み合わせ、新しいものを創り出すことができる	1	4	2	0
	(17) 従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を生み出すことができる	1	5	1	0
	(18) 成功イメージを常に意識しながら、新しいものを生み出すためのヒントを探ることができる	1	5	1	0
自分の意見をわかりやすく伝える力	(19) 事例や客観的なデータ等を用いて、具体的にわかりやすく伝えることができる	1	5	1	0
	(20) 聞き手がどのような情報を求めているかを理解して伝えることができる	1	6	0	0
	(21) 話そうとすることを自分なりに十分に理解して伝えている	2	5	0	0
自分の意見を丁寧に聴く力	(22) 内容の確認や質問等を行いながら、相手の意見を正確に理解することができる	2	4	1	0
	(23) 相槌や共感等により、相手に話しやすい状況をつくることことができる	4	3	0	0

	(24) 相手の話を素直に聴くことができる	4	2	1	0
意見の違いや立場の違いを理解する力	(25) 自分の意見をもちながら、他者の良い意見を共感し受け入れることができる	3	4	0	0
	(26) 相手がなぜそのように考えるかを、相手の気持ちになって理解することができる	4	3	0	0
	(27) 立場の異なる相手の背景や事情を理解することができる	3	4	0	0
自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	(28) 周囲から期待されている自分の役割を把握して、行動することができる	1	4	2	0
	(29) 自分にできること、他人ができることを的確に判断して行動することができる	2	5	0	0
	(30) 周囲の人の状況（人間関係、忙しさ等）に配慮して、良い方向へ向かうよう行動することができる	1	6	0	0
社会のルールや人との約束を守る力	(31) 相手に迷惑をかけないように、最低限守らなければならないルールや約束、マナーを理解している	6	1	0	0
	(32) 相手に迷惑をかけたとき、適切な行動をとることができる	6	1	0	0
	(33) 規律や礼儀が特に求められる場面では、粗相のないように正しくふるまうことができる	6	1	0	0
ストレスの発生源に対応する力	(34) ストレスの原因を見つけて、自力で、または他人の力を借りてでも取り除くことができる	3	3	1	0
	(35) 他人に相談したり、別のことに取り組んだりする等により、ストレスを一時的に緩和できる	4	3	0	0
	(36) ストレスを感じることは一過性、または当然のことと考え、重く受け止めすぎないようにできる	4	2	1	0
倫理性	(37) 絶えず相手の立場に立つようにしている	3	4	0	0
	(38) 不利益や苦痛が生じないように、他者の意思決定や権利を遵守することができる	4	3	0	0
	(39) 自己の振り返りを繰り返しながら行動することができる	3	3	1	0

問9. どの程度満足していたか。また、どの程度役立っているか。

授業を受けて	① 満 足 だ っ た	足 ② だ あ っ る た 程 度 満	だ ③ っ や た や 不 満	④ 不 満 だ っ た
(1) 基礎科目群	4	3	0	0
(2) 看護の基礎科目群	1	5	1	0
(3) 看護の実践科目群	3	4	0	0
(4) 看護の発展科目群	1	4	1	0
現在の仕事に	る ① 役 立 っ て い	て い ② い え ど る ば ち 役 ら い 立 か 役 っ と 立 か っ と	て い ③ い え ど な ば ち 役 ら い 立 か 役 っ と 立 か っ と	な ④ い 役 立 っ て い
(1) 基礎科目群	3	4	0	0
(2) 看護の基礎科目群	2	4	1	0
(3) 看護の実践科目群	1	6	0	0
(4) 看護の発展科目群	1	5	1	0

問12. 総合的にみて、本学で学んだことについて満足しているか。

①満足している	②ある程度満足している	③あまり満足していない	④満足していない
1	6	0	0